

令和元年度 下野市行政評価市民評価 ヒアリング資料

事務事業番号 9

事務事業名	広報広聴業務事務費		所管部課	総合政策部	総合政策課	
事業目的	行政情報を発信し、市民の声を聴き、協働のまちづくりを進める。					
事業概要	・様々な手段を活用し、市内外へ情報提供を行う。 【広報】 広報しもつけ、行政カレンダー、市民生活ガイドブック、市民手帳の発行 ホームページ、インフォメール、ツイッター、データ放送による発信 小金井駅、自治医大駅の掲示板運営 記者会見、報道機関への情報提供、しもハピチャンネル、FMゆうがお(市からの情報番組) ・市民の率直な意見・要望・提言をうけ、今後のまちづくりに反映させる。 【広聴】 市政への提案書、タウントーク、ランチトーク					
総合計画での位置付け	6 施策 2	市民が主役の市民と行政が協働するまちづくり 健全な行財政運営の仕組みづくり 広報・広聴の充実	重点事業区分 暮らしいきいき	類型区分 I (積極的推進)		
事業区分	新規・継続	継続	事業の種類	ソフト事業	市裁量の有無	
根拠法令等	下野市広報広聴規則、下野市広報広聴活動運営要綱、下野市パブリックコメント制度実施要綱					
補助団体	—					
年度別	事業計画	平成29年度 ・タウントーク開催 ・データ放送 ・ホームページ管理	平成30年度 ・タウントーク開催 ・データ放送 ・ホームページ管理	令和元年度 ・タウントーク開催 ・データ放送 ・ホームページ管理	令和2年度 ・タウントーク開催 ・データ放送 ・ホームページ管理 ・広報紙 ・行政カレンダー ・コミュニティFM	令和3年度 ・タウントーク開催 ・データ放送 ・ホームページ管理 ・広報紙 ・行政カレンダー ・コミュニティFM
	事業費	3,867千円	3,578千円	29,954千円	51,036千円	51,036千円
事業内容	対象年度(令和2)	広報しもつけ(10,584千円) 行政カレンダー(1,705千円) 市民生活ガイドブック(1,656千円) ホームページ(2,092千円) データ放送(1,254千円) FMゆうがお(31,000千円)				
	財源	国県支出金	0千円	地方債・その他	0千円	一般財源
その他(過年度実績・特筆すべき点等)	【広報】 (毎日) FMゆうがお(市からの情報番組)12月から平日 (毎週) 報道機関への情報提供 (毎月) 広報しもつけ、しもハピチャンネル (隔月) 記者会見 (年1回) 行政カレンダー、市民生活ガイドブック、市民手帳 (随時更新) ホームページ、インフォメール、ツイッター、データ放送による発信、小金井駅、自治医大駅の掲示板運営 【広聴】 (随時) 市政への提案書、ランチトーク、パブリックコメント (年3回) タウントーク ※令和元年12月にコミュニティFMが開局し、平日の毎日1時間番組を開始する予定					

事業推進方針判断に際しての3つの視点				
必要性	A	○	全て	要件(3項目) <input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化や市民ニーズ等に適合する <input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性がある <input checked="" type="checkbox"/> 第二次下野市総合計画の施策体系と事業目的に整合性がある
	B		1以上	
	C		なし	市裁量がない事業(⇒A評価とする)
現総合計画前期基本計画では、基本施策6-2「健全な行財政運営の仕組みづくり」、施策2「広報・広聴の充実」に位置付けられているほか、しもつけ重点プロジェクトの取組事業にもなっています。 行政の発信する情報は、市民の生活や安全に密接にかかわるため、常に求められるものであり、また、全国的に異常気象や災害が頻発していることから、迅速かつ正確な情報提供の体制が欠かせないものとなっています。 情報発信手段を整え、適切な情報を提供していくことは重要であることから、本事業の必要性は高いと考えます。 以上のことから、必要性をAとしました。				
有効性	A	○	全て	要件(3項目) <input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能なまちづくりに寄与し、地方創生の推進等につながる <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画の上位施策の目標達成に貢献し、意図する結果につながる
	B		1以上	
	C		なし	市裁量がない事業(⇒A評価とする)
広報事業では、広報紙や市民生活ガイドブック等の紙媒体だけでなく、ホームページやツイッター等電子媒体による情報提供も行い、各自見合った受取方法を選択できる環境が図られています。また、コミュニティFMの開局により、災害等の際に、迅速で安定的な情報提供を可能にすることが期待されます。広聴事業では、市民と市長が対談できる場を設け、市政を身近に感じてもらい、市政を理解してもらうよう取り組んでいます。安全安心なまちづくりと市政への理解を深める取組の一つとして、本事業の有効性は高いと考えます。以上のことから、有効性をAとしました。				
効率性	A		3以上	ソフト事業(要件:6項目)   ハード事業(要件:3項目) 事業の質を維持しつつ、事業費の削減や取組方法を見直す   補助金等の積極的な活用で最大の成果となる方法を選択している
	B	○	1以上	同種・同目的事業との統合や簡略化を実施する   民間委託を実施する   事業目的に見合う最適な事業規模である
	C		なし	受益機会・費用負担割合等が公平公正であり適正である   市民(団体)協働や連携により事業を実施する   他事業との重複がない
非常時においても、瞬時に多数の市民に情報を与えることができるコミュニティFMは、情報提供における効率性が高いと考えられます。また、自治会配布物を可能な限り広報紙に集約することで、毎月配布から年4回配布にし、業務の負担軽減や配布回数削減につなげた点が、効率性を図る取組として評価できると考えます。 以上のことから、効率性をBとしました。				

総合評価	○	継続実施
		見直し実施
		廃止



# 2019年12月20日開局

# FM ゆうがお

FM YUGAO 87.9

12月20日(金)に地域FMラジオ局「FMゆうがお」が開局します。このラジオは下野市を中心にお手持ちのラジオやカーステレオでどなたでもお聴きいただけます。お聴きいただくには、次のような方法があります。

## FMゆうがおの聴き方

### ①ラジオで聴く

お手持ちのラジオで聴くことができます。FM放送が受信できるラジオやコンポ、ステレオ(チューナー)、カーラジオなどで、周波数を87.9MHz(メガヘルツ)に合わせます。

アンテナが付属している場合は、アンテナを伸ばし、アンテナの向き・角度や本体を置く場所を変えると、より良い状態でお聴きいただけます。

雑音が多い場合、窓の近くや2階以上で聴いていただくと改善されることがあります。

### ②スマートフォンで聴く

専用アプリ「FM++」をインストールするとお聴きいただけます。

※「ぷらぷら」アプリは無料です。インターネット環境・状態によってはお聴きいただけないことがあります。実際の放送より遅れて聴こえるため、時報などは正確でない場合があります。

### ③パソコンで聴く

FMゆうがおの公式ウェブサイト(<http://fmyugao879.jp>)にアクセス、表示に従ってクリックするとお聴きいただけます。

※機種やインターネット環境によってはお聴きいただけないことがあります。実際の放送より遅れて聴こえるため、時報などは正確でない場合があります。

## 防災ラジオの配布について

■問い合わせ先 安全安心課 ☎(32)8894

### 無償の貸し出し

次の方には無償で貸し出します。

○市内に住所を有する80歳以上の方のみで構成される世帯、視覚障がい1・2級の方、自治会長、民生委員・児童委員、消防団幹部ほか

■貸出方法 対象者の方に別途通知します

### 販売

#### ■対象者・価格

○市内に住所を有する方・市内に事業所等がある方  
1台につき5,000円

○市内に住所を有する75歳以上の方のみで構成される世帯  
1台につき2,000円

※年齢確認のため、公的機関の発行した身分証明書をお持ちください。

■販売場所 安全安心課

■販売開始日 12月10日(火)



# 新たな仲間が増えました！ 地域おこし協力隊 が着任しました

コミュニティFM 事業を担当します！

■問い合わせ先 総合政策課 ☎(32)8886



わたなべ みしお  
渡邊 美潮 さん



## プロフィール

- 年齢 32歳
- 前住所地 埼玉県川口市
- 経歴
  - ・ 県立石橋高等学校出身
  - ・ FM栃木（レディオベリー）「しもつけサタデーモーニング（しもサタ）」でリポーターを担当
  - ・ 声優事務所に所属し、テレビやラジオのナレーション、FMうらやすでの番組パーソナリティ、イベントのMCなど、数多くの「声」に関する仕事に携わる
- 趣味
  - ・ 音楽鑑賞
  - ・ 歌
  - ・ 美味しい紅茶を探すこと

下野市地域おこし協力隊の委嘱状交付式が11月1日に行われ、広瀬市長から渡邊美潮さんに委嘱状が手渡されました。

市では、3月から宇佐美慈さんが、4月から大坪亜紀子さんが地域おこし協力隊として活躍しており、渡邊さんは3人目の地域おこし協力隊です。どうぞよろしくお願いいたします。

## 「地域おこし協力隊」とは？

人口減少や高齢化等の進行する地方に都市部の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行うことで、地域の活性化を図りながら、その地域に定着・定住することを旨とする制度です。

## 協力隊としての活動

- 活動拠点  
FMゆうがお
- 活動内容  
主に「FMゆうがお」における市の広報活動・情報発信を担当します。
  - ・ 市が提供する番組を中心とした市の魅力の発信
  - ・ FM局と市役所を連携させた行政情報の発信
  - ・ 市内の観光資源の発掘・PR
  - ・ SNS等を活用した市内のイベントや魅力のプロモーションや情報発信
  - ・ ラジオを通じた市民交流の促進

## 下野市の皆さんへ

下野市には高校生時代からお世話になりました。レディオベリーで放送されていた下野市のラジオ番組「しもつけサタデーモーニング」ではリポーターを担当させていただきました。また、シティプロモーション事業でPR動画の制作を担当し、市内の取材を行わせていただきました。

その後、活動の場を東京に移し、声優活動をしていましたが、その間もありがたい事に、市内で開催されるイベントで司会をさせていただき、市民の皆さんとお会いする機会が多かったので、栃木県在住ではなかったこ

とに驚かれる方もいらっしゃると思います。栃木と東京の往復生活をしていました。この度、下野市にコミュニティFMが開局されることを知り、居ても立ってもいられずUターンして参りました。これまで様々な機会の下野市に関わり、取材で得た情報や人とのつながりと、声優としての経験を活かしながら、“声の力”で下野市を盛り上げていければと思っています。

下野市は、本当に安心して健康に生活できる街です。その魅力を皆さんの“声”で電波に乗せて届けて行きましょう！どうぞよろしくお願いいたします。